

脳卒中入院患者さんの診療情報の 研究利用についてのお知らせ

病院長 江端 広樹

この度済生会神奈川県支部東神奈川リハビリテーション病院では、「脳卒中入院患者の回復過程の推移モデルの構築」の研究を行うことになりました。

この研究の目的は、脳卒中入院の患者さんの入院中の経過を調査し、どのような回復過程をたどるかを明らかにすることです。

この研究のため、2018年2月1日より2019年3月末までに入院した方の診療録の調査を行います。対象となるのは脳卒中での入院治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学・社会的な情報（年齢や既往歴、治療経過など）です。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心ください。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ねください。

2019年7月

<問い合わせ先>

東神奈川リハビリテーション病院

リハビリテーションセラピスト部

古田 裕亮

連絡先 045-324-3600(代表)